



小さな拠点「里山キャンパス益子家」 プロジェクト 2025年度中間報告

2025.10.24

宇都宮大学農学部農業経済学科 西山研究室
須藤美佳、鶴田碧波、白石樹理、阿部亮介、菊地泉希

1. 里山キャンパス益子家のこれまで

研究対象である「農業と農村」をもっと身近に、具体的に理解するための拠点として開設

アクションリサーチの現場としても活用 @栃木県益子町

年	活動内容
2022	拠点としての①空家改修を始める
2023	耕作放棄地を②再生した棚田2畝で「ゆうだい21」無農薬栽培 約120キロ収穫（2024年には25畝に拡大、地域の農家と連携して1トンの米収穫）
2024	③地域食堂開始 集落内の高齢者とのコミュニケーションと関係人口増加を期待 集落内の「食と農」がつながる取り組みに ④森の整備を始める 薪需要で皆伐され放置されていた山の整備 WSで森林活用計画 クラファンで山を所有 小屋の建築

2. 2025年度の予定と実施経過

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
米作り ・ みんなで田んぼ ・ 自分で田んぼ ・ 地域で田んぼ								
地域食堂 ・ 地域を知るWS	「生き物 観察会」			「大平散歩」 (赤道マッ プ)	「地域問題を 専門家に学 ぶ」	「そば打ちを 地域の名人に 習う」		
山 ・ 環境整備 ・ 小屋制作								

その他；森と里のつながるマルシェへの出店（11月23日@茂木町八雲神社

①稲刈り（9月20日、 23日、27日、29日）

- みんなで田んぼ（9月20日、27日）；総勢32人の参加で
- 自分で田んぼ（9月23日）；田んぼオーナーさん3組と
- 地域で田んぼ（9月29日）；地域の農家さんの協力を得て
- 色選（9月30日）；無農薬のためカメムシ被害で黒くなった米を選別する作業の実施



②地域食堂の位置づけの見直し

- 益子家のメンバーや地域の方の一定の居場所としての役割を果たせた 地域の食の見える化実現
- 一方で、地域内外の交流の場所になっていない
(勅使河原卒論2024)
- 地域のニーズを拾い上げられているのか？
- 益子家自身が、まだ地域のことを十分理解していない
- 学生メンバーは毎年入れ替わる
- 「安善寺の棚田」「芳賀富士」と言いながら、行ったことがないメンバーも増えている
- 地域の資源や人をよく知るワークショップの機会に その際に地域の食を囲んで という形に10月からリニューアル



結果・考察：地域食堂の実践一展開一



写真6 1月の地域食堂の様子（筆者撮影）



写真7 5月の地域食堂の様子（筆者撮影）

日付	内容
1/27	・「どんぶり混ぜご飯」の再現とともに初開催
4/27	・益子家の竹林で収穫した筍を使用
5/26	・竹を使い、流しそうめんをした
10/26	・太平地区で栽培した新米のゆうだい21を使用した。

- ・食材のおすそ分けが他の子ども食堂より多い。
 - ・筍、耕作放棄地で栽培された米などの使用
- **おすそわけ文化、地域資源の利用**



写真8 4月の地域食堂の様子（筆者撮影）



写真9 10月の地域食堂の様子（筆者撮影）

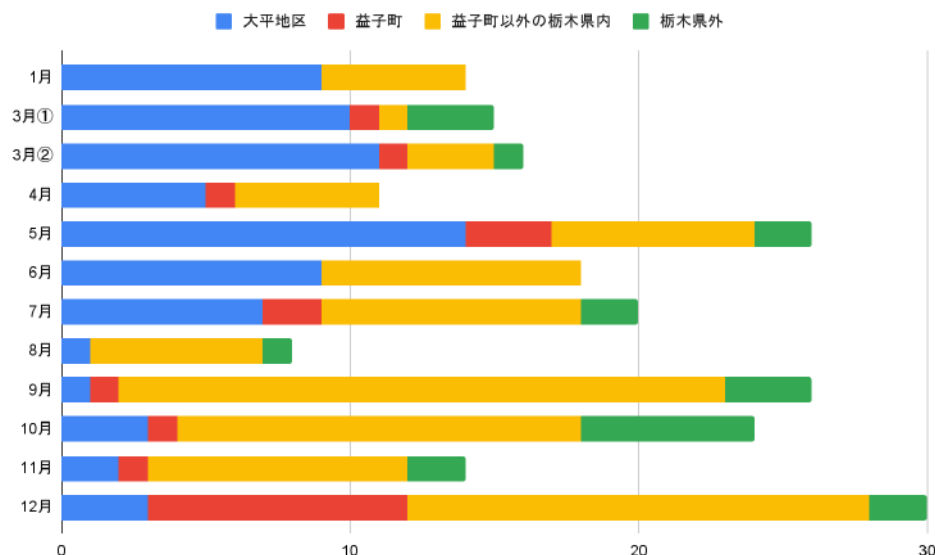


図2：地域食堂参加者の居住地分布（記録を元に筆者作成）

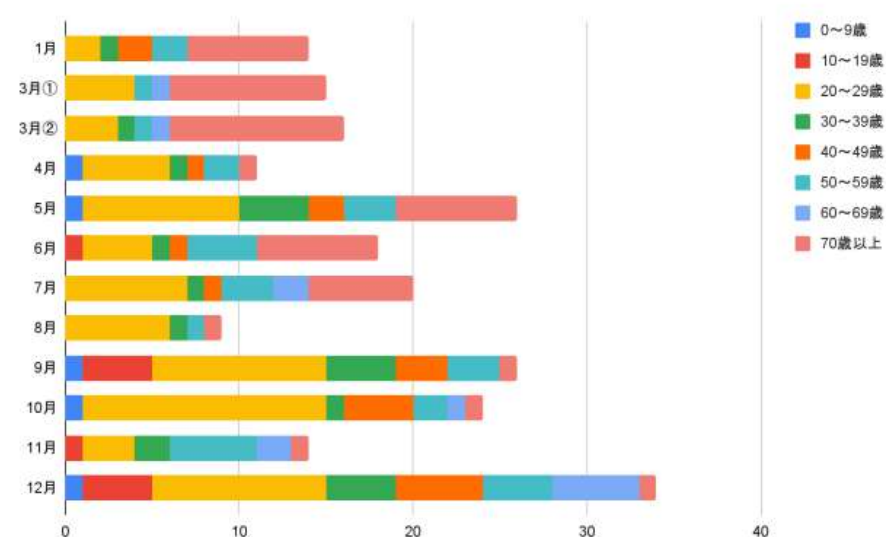


図3：地域食堂参加者の年齢分布（記録を元に筆者作成）

- ・ 地域の方の参加が減少
- ・ 大平地区外からの参加が増加

- ・ 前半は高齢者が多い
- ・ 後半になるにつれて多世代交流が見られる

→外部との関わりを避ける、農村特有の問題

③山の利用

- **環境整備（草刈り、枯木の伐採など）**

ほぼ、毎月1回のペースで、草刈りなどを実施
ボランティアを募っての作業も昨年に引き続き
実施予定

- **小屋の制作の再開**

交流人口との交流の拠点としての小屋の制作
の再開 今年度中には完成予定



3. 「里山キャンパス益子家」が目指すもの

資源を活用し、住み続けられる地域づくりへ

拠点づくり

○空き家の再生と活用

- ・数十年空き家になっていた建物を約2年かけて改修

→里山ゼミ室として活用
WS,映画鑑賞,農作業後の休憩場所
地域食堂として
地域内外の人の居場所にも

仕事づくり

○棚田再生

- ・集落で「ゆうだい21」の有機栽培推進プロジェクト
- ・約1トンのコメの販売計画
- ・2反で40万の利益

資源活用で 関係人口増加

○山の所有、整備、活用

- ・みんなの山
 - ・やってみたいができる場所
- 「自分の小屋を1から建てる」
「食べられる森の育成」
「山カフェ」

学生たちの将来にとって：
セカンドキャリアor 半農半Xのライフスタイルの模索？